

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	多治見市立北栄小学校		
実 施 期 間	平成26年11月9日(日)		
実 施 概 要	保護者・地域の方がブースを企画運営し、児童と保護者が、企画された体験や遊びを行うPTA行事。同日に道德の授業参観、「ひとり語り」の上演を行った。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約550人	計 約600人
	地 域 関 係 者	約50人	
実 施 状 況	<p>「たのしみな祭」 11月9日(日)実施          授業参観、PTA主催の劇の上演のあと、保護者、地域の方と児童が共にふれあう交流活動を「たのしみな祭」として実施した。「たのしみな祭」は毎年行われる行事であり、児童は、この日を楽しみにしている。また、保護者の役員も毎年、自分たちで運営していくことを続けている。中学生もボランティアとして参加し、各ブースの補助を行う。</p> <p>年度当初から当日までに、PTA学級委員、母親委員、児童センター、学校運営協議会、土岐川観察館、学校職員が体験や遊びのブースを企画した。協力していただけるPTA役員が、どんなブースを開き、どのように準備をすすめるか何度か打合せを行った。</p> <p>当日は「紙工作ブーメラン」「軽スポーツ」「人工イクラづくり」など11のブースが運営された。北陵中学校の生徒がボランティアとして参加し、優しく児童に接したり、一生懸命補助を行ったりした。</p> <p>児童と保護者がブースをまわり、いろいろな遊びや体験を楽しむことができた。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>参加した保護者からは「親子でひとつの作品をつくったり、遊びを楽しんだりすることができてよかった。」という感想をいただき、ブースの企画・運営に関わった保護者からは「子どものために企画・運営できてやりがいがあった。子どものうれしそうな表情を見てうれしかった。保護者同士のつながりも深くなった。」という感想をいただいた。</p> <p>全家庭が参加できることを目指しているが、参加しない家庭もある。全家庭が参加できるような日程に改める。</p>		